

## 山形県林政連絡会を開催しました

令和7年7月9日(水)、山形市の山形県自治会館にて「令和7年度山形県林政連絡会」を開催しました。この会議は、民有林(山形県)と国有林(東北森林管理局)の連携を深め、林政を巡る諸問題に関する情報や意見を交換するために、東北森林管理局管内5県でそれぞれ開催しているものです。

会議では、「大雨災害時の民国連携」をテーマに意見交換を行いました。令和6年7月の豪雨災害の各地区ごとの被害規模と対応状況が県及び東北森林管理局から報告されました。

その中で、林道が崩壊しアクセスが困難な山間奥地での復旧工事のあり方等について意見が交わされ、糸状菌類、土壌藻類、地衣類など植生遷移が始まる基盤となるものをドローンを活用して吹き付けて、在来の植生の侵入・定着を促し、斜面を安定させる新技術の紹介等が行われました。

その後、最上、庄内、村山、置賜の各地域ごとの課題について意見交換を実施しました。

マツクイムシ被害対策のための民国連携、広葉樹資源の利活用、ICTを活用した森林土木工事の効率化などについて幅広く意見交換を実施し、今後、県と森林管理局・署の間で様々な現地検討会を企画するなど、技術面での連携を一層深めていくことで意見が一致しました。

また翌10日は、森林管理局・署の有志により、山形県森林研究研修センターを見学しました。山形県では今年より通常のスギよりも成長が速く、花粉の量が少ない「特定苗木」といわれるスギ苗木の植栽が始まりましたが、特定苗木の今後のさらなる普及を促進するために昨年度同センターに整備された閉鎖系採種園を見学しました。

今後とも引き続き、地域の民有林行政・研究機関等との連携を進めながら、山形県内および各地域の課題の解決に取り組んでまいります。



会議の様子